

動物実験に関する自己点検・評価報告書

関西学院大学

2021年12月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「関西学院大学動物実験管理規程」 ・研究推進社会連携機構の構成イメージ図 ・動物実験に関する組織体制図
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>・機関内規程として、「関西学院大学動物実験管理規程」を定めている。本規程は「動物の愛護及び管理に関する法律」をはじめとする諸法令及び各種指針等に基づき、平成5年12月11日制定、施行されている。</p> <p>・環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」に平成25年に新たに追加された項目「(4)緊急時の対応：管理者は、関係行政機関との連携の下、地域防災計画等との整合を図りつつ、地震、火災等の緊急時に採るべき措置に関する計画をあらかじめ作成するものとし、管理者等は、緊急事態が発生したときは、速やかに、実験動物の保護及び実験動物の逸走による人への危害、環境保全上の問題等の発生の防止に努めること。」への対応が不十分である旨、2014年8月に文部科学省より指摘があり、これを受けて「緊急時の対応マニュアル」を作成し、動物実験に係る体制整備が完了した旨、2014年10月31日付で文科科学省ライフサイエンス課へ報告を行った。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当なし

2. 動物実験委員会

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「関西学院大学動物実験管理規程」 ・2021年度動物実験委員会委員一覧
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>・「関西学院大学動物実験管理規程」第8条～16条、24条、26～27条に動物実験委員会の設置及び役割について明記している。</p>

4) 改善の方針、達成予定時期

- ・該当なし

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。
- 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制を定めていない。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・「関西学院大学動物実験管理規程」
- ・「関西学院大学動物実験管理規程の運用に関する内規」
- ・「学外研究者・企業との動物実験等に関する誓約書」
- ・「動物実験計画書」
- ・「動物実験の自己点検票」
- ・「動物実験報告書」
- ・「動物実験計画中止・変更申請書」
- ・「動物実験室・飼養保管施設 廃止届」
- ・「動物実験室・飼養保管施設設置（変更）申請書」
- ・「「特殊実験区分」に該当する危険物質使用申請書」
- ・「哺乳類、鳥類及び爬虫類以外の脊椎動物を使用する動物実験実施申請書」
- ・「哺乳類、鳥類及び爬虫類以外の脊椎動物を使用する動物実験更新・変更申請書」
- ・「哺乳類、鳥類及び爬虫類以外の脊椎動物を使用する動物実験報告書」

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

- ・「関西学院大学動物実験管理規程の運用に関する内規」第5条第1項において、動物実験責任者は、動物実験の実施に先立ち計画書を提出し、動物実験委員会の承認を得ておくことと定められており、それに則っている。この点につき、動物実験に関する教育訓練において周知を図っている。
- ・審査、承認、結果報告の実施体制については、「関西学院大学動物実験管理規程」第14条及び第15条に記載されている通り、動物実験委員会で調査、審議及び審査を行う事項を定めている。動物実験委員会は申請された動物実験計画書について、諸法令及び各種指針等に適合しているかの審議や動物実験の実施状況および結果等、動物実験の適正な実施のための事項に関して、最終的には統括管理者である学長に報告・助言する役割を担っている。

4) 改善の方針、達成予定時期

- ・該当なし

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果

<p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。</p> <p><input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「関西学院大学組換えDNA実験安全管理規程」 ・「関西学院大学ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理規程」
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>・組換えDNA実験又は「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」に定める組換えDNA実験に準ずる実験を計画し実施する際には、実験責任者は実験計画に関する関係書類を添え、部局長に申請又は届け出る必要がある旨、「関西学院大学組換えDNA実験安全管理規程」に定められている。</p> <p>・感染動物実験については、組換えDNA実験安全委員会との情報共有を進めながら、動物実験委員会で承認し感染動物実験を実施している。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当なし

5. 実験動物の飼養保管の体制

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「関西学院大学動物実験管理規程」 ・「関西学院大学動物実験管理規程の運用に関する内規」 ・「動物実験室・飼養保管施設 廃止届」 ・「動物実験室・飼養保管施設設置（変更）申請書」 ・関西学院大学動物実験に関する緊急時対応計画 ・関西学院大学動物心理学研究マニュアル（文） ・関西学院大学聖和キャンパスヤマネ研究マニュアル（教育） ・関西学院大学神戸三田キャンパス実験動物飼育共同施設利用内規（理） ・関西学院大学神戸三田キャンパス実験動物飼育共同施設 緊急時対応マニュアル（理） ・SPF室の利用細則（理） ・神戸三田キャンパス実験動物飼育共同施設使用規則（理）
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>・西宮上ヶ原キャンパス、神戸三田キャンパス、西宮聖和キャンパスの計3つの部局に飼養保管施設</p>

が設置され、各施設の管理者は「関西学院大学動物実験管理規程」において、部局長の推薦により学長が、当該部局から 1 名任命することと定められており、それに則っている。

・動物実験施設の要件については「関西学院大学動物実験管理規程の運用に関する内規」第 3 条において定めており、新規設置申請にあたっては学長の承認後兵庫県へ届出を行い、法令に適合した施設として知事の認可を得ている。

・「関西学院大学神戸三田キャンパス実験動物飼育共同施設利用内規」の一部情報が更新されていなかったため、実態に合わせて変更改正を行う。

4) 改善の方針、達成予定時期

・該当なし

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

・教育学部・教育学研究科（西宮聖和キャンパス）に設置されていた教育学部動物飼育室は実験動物管理者の定年退職に伴い 2021 年 3 月末にて閉鎖となった。

・神戸三田キャンパスは 2021 年に組織改編があり、理工学部 1 学部体制から、理学部・工学部・生命環境学部の 3 学部体制となった。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年度関西学院大学動物実験委員会記録 ・「関西学院大学動物実験管理規程」 ・「関西学院大学動物実験管理規程の運用に関する内規」 ・「学外研究者・企業との動物実験等に関する誓約書」 ・「動物実験計画書」 ・「動物実験の自己点検票」(新) ・「動物実験報告書」 ・「動物実験計画中止・変更申請書」 ・「「特殊実験区分」に該当する危険物質使用申請書」 ・「哺乳類、鳥類及び爬虫類以外の脊椎動物を使用する動物実験実施申請書」 ・「哺乳類、鳥類及び爬虫類以外の脊椎動物を使用する動物実験更新・変更申請書」 ・「哺乳類、鳥類及び爬虫類以外の脊椎動物を使用する動物実験報告書」
<p>3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>・関西学院大学動物実験委員会は、「関西学院大学動物実験管理規程」に基づき、次の事項について調査、審議及び審査し、これらの事項に関して統括管理者に報告・助言する機能を有する。</p> <p>①規程の運用に関する内規等の制定・改廃に関する事項</p> <p>②動物実験施設の設置及び改廃等に関して当該部局から申請があった事項</p> <p>③動物実験計画、動物実験等の実施、結果の発表並びにデータの保管に関して、動物実験責任者から申請があった事項</p> <p>④動物実験等の実施並びに実験動物の飼養・保管に係わる教育訓練に関する事項</p> <p>⑤動物実験等に関する自己点検・評価、外部検証並びに情報公開に関する事項</p> <p>⑥事故発生の際の必要な処置及び改善策</p> <p>⑦その他、動物実験等の適正な実施に関し必要な事項</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>・該当なし</p>

2. 動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p>

<p>■ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2020年度動物実験計画等申請一覧 ・ 2020年度関西学院大学動物実験委員会記録 ・ 2020年度動物実験計画書 ・ 2020年度動物実験の自己点検票 ・ 2019年度動物実験報告書
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2020年度は34件の動物実験計画が各実験責任者より申請され、関西学院大学動物実験委員会において審議した。審議の結果、一部計画の修正のうえ、全件を規程に適合するものとして承認した。 ・ 2019年度に実験が終了した35件の動物実験計画については、各実験責任者より動物実験報告書が提出され、関西学院大学動物実験委員会において審議の結果、一部追記・訂正のうえ全件を承認した。
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <p>■ 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2020年度動物実験申請一覧 ・ 2020年度関西学院大学動物実験委員会記録 ・ 「関西学院大学動物実験管理規程」 ・ 「関西学院大学動物実験管理規程の運用に関する内規」 ・ 「学外研究者・企業との動物実験等に関する誓約書」 ・ 「「特殊実験区分」に該当する危険物質使用申請書」 ・ 2020年度動物実験計画書 ・ 2019年度動物実験報告書 ・ 2020年度動物実験教育訓練資料 ・ 2020年度動物実験教育訓練受講者名簿

<p>・DNA実験一覧</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>・「関西学院大学動物実験管理規程」ならびに各部署の動物実験施設の運用マニュアルを遵守し、安全に配慮した実験が実施されている。</p> <p>・動物実験に従事者については必ず動物実験に関する教育訓練の受講を義務付け、安全に配慮した適切な動物実験を行うために必要な知識・倫理等を指導している。</p> <p>・2020年度の特実実験としては、感染実験1件（承認番号：2020-06）、遺伝子組み換え動物実験2件（承認番号：2020-06、2020-33）、麻薬・向精神薬等実験3件（2020-06、2020-07、2020-30）が新規計画されており、いずれも適正に実施されていた。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>・該当なし。</p>

4. 実験動物の飼養保管状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>・「関西学院大学動物実験管理規程」</p> <p>・「関西学院大学動物実験管理規程の運用に関する内規」</p> <p>・関西学院大学動物実験に関する緊急時対応計画</p> <p>・関西学院大学動物心理学研究マニュアル（文）</p> <p>・関西学院大学神戸三田キャンパス実験動物飼育共同施設利用内規（理）</p> <p>・関西学院大学神戸三田キャンパス実験動物飼育共同施設 緊急時対応マニュアル（理）</p> <p>・2020年度動物実験の自己点検票</p> <p>・動物種・飼養数集計表（2020年3月31日時点）</p> <p>・微生物モニタリング検査報告書</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>・各キャンパス施設管理者の立会いのもと、動物実験委員会による点検を行った結果、動物の飼養保管は各キャンパスでそれぞれの特徴、現状に即したガイドラインに沿って、適正に管理・運営されていると判断された。</p> <p>・緊急時の対応については、「関西学院大学動物実験に関する緊急時対応計画」等において定められているが、改めて連絡体制を確認し、各動物実験施設の掲示物を更新する。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>・該当なし。</p>

5. 施設等の維持管理の状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「関西学院大学動物実験管理規程」 ・「関西学院大学動物実験管理規程の運用に関する内規」 ・関西学院大学動物心理学研究マニュアル（文） ・関西学院大学神戸三田キャンパス実験動物飼育共同施設利用内規（理） ・動物実験室・飼養保管施設設置（変更）申請書 ・動物実験室・飼養保管施設廃止届 ・施設外設置一覧 ・2020年度実験動物飼養保管状況の自己点検票（様式2-2） ・動物実験施設設備保守点検記録
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>・各キャンパス施設管理者の立会いのもと、動物実験委員会による点検を行った結果、各キャンパス特有な地理的、構造的特色に即した整備が行われていることが確認され、施設維持管理が適切に行われていると判断された。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>・該当なし。</p>

6. 教育訓練の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「関西学院大学動物実験管理規程」 ・「関西学院大学動物実験管理規程の運用に関する内規」 ・2019年度動物実験報告書 ・2020年度動物実験教育訓練資料（パワーポイント）
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>・全学部同一のスライド資料を用いて、動物実験の歴史と現状、特に3Rの原則など動物実験倫理についての講義を行った。また、各学部固有の注意事項（使用する施設や規則、飼育管理方法、実験・観察手技など）について、資料などを用いて解説した。なお、動物実験従事者は毎年度、教育訓練を</p>

<p>受講する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本実験動物学会の教育動画「動物実験は機関管理されています」を教育訓練で共有している。
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当なし。

7. 自己点検・評価、情報公開

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関西学院大学ホームページ（研究推進社会連携機構ホームページ） http://www.kwansei.ac.jp/kenkyu/kenkyu_010166.html
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学における動物実験に関する規程、年度ごとの動物実験計画申請・承認件数を公開している。 ・文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」及び公私立大学実験動物施設協議会「動物実験に関する情報公開に関する更なる取組について」等における情報公開の目安に基づき、機関内規程、自己点検評価結果、外部検証結果、動物種・飼養数、動物実験施設、動物実験計画・承認件数、教育訓練実績、動物実験委員会構成等の情報について、2015年7月から研究推進社会連携機構ホームページで公開している。
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年度自己点検結果は今年度末（2022年3月）に公開予定。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

<ul style="list-style-type: none"> ・学外での野生動物(哺乳類、鳥類、爬虫類)の生態調査等を実施する場合も動物実験計画書を提出し、学長承認を経て実施することとしている。また、魚類及び両生類等を用いる実験に関しても動物実験に準じて実験計画の審査を行う事としている。 ・教育学部・教育学研究科（西宮聖和キャンパス）に設置されていた教育学部動物飼育室は実験動物管理者の定年退職に伴い2021年3月末にて閉鎖となった。 ・神戸三田キャンパスは2021年に組織改編があり、理工学部1学部体制から、理学部・工学部・生命環境学部の3学部体制となった。
--